

ステークホルダーとのコミュニケーション

オリンパスグループは、経営理念に掲げている「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」をすべての活動の基本思想とし、すべてのステークホルダーの期待に高い次元で応えるとともに、よき企業市民として行動し、社会とともに持続可能な成長を目指します。

また、グローバル企業として国際社会課題に取り組むため、国連グローバル・コンパクト(GC)に参画し、毎年GCへCSR活動の実績を報告しているほか、「持続可能な開発目標(SDGs)」について、当社の貢献のあり方を検討しています。

ステークホルダーの皆さまとの主なコミュニケーション

お客さま

医療・科学・映像の3事業において、お客さまとの対話を通じて、多様な要求から潜在ニーズまでを正しく理解し、製品・サービスをスピーディーに提案・提供することに努めています。

各事業で国内外にお客さま専用のコールセンターを設置しお客さまの課題解決のサポートなどを行うほか、お問い合わせ内容を社内でも活用し、さまざまな改善に結び付けています。

株主・投資家さま

金融商品取引法に定められた「フェア・ディスクロージャー・ルール」を遵守し、「情報開示方針」に沿って、経営方針、財務状況、事業活動状況、CSR活動などの企業情報を公正、適時適切かつ積極的に開示しています。また、役員および事業部門長等が経営戦略や事業戦略、イノベーション技術の取り組みについて説明するイベントも開催しています。

投資家情報 <https://www.olympus.co.jp/ir/>

サプライヤー(お取引先)さま

各事業に関わる国内の主要なサプライヤーさまに対して、毎年1回、「調達方針説明会」を開催し、オリンパスグループの経営戦略や調達方針の共有を図っています。

また、コンプライアンスに関する通報や相談窓口「コンプライアンスヘルプライン」では、国内オリンパスグループと直接取引のあるサプライヤーさまからの通報も受け付けています。

従業員

多様な人材の活躍を支える制度、施策を適切に立案・運用していくために、人事部門が中心となって従業員や労働組合との対話の場を設けています。

労働組合と、年に2回の中央労使協議会をはじめ、中央、各事業場にて、定期的に労使協議の機会を設けて労働条件の改善や企業風土改革について討議しています。

地域社会

事業場近隣のコミュニティー、学校、企業など幅広いステークホルダーにオリンパスの活動を知っていただくため、各種の地域活動に積極的に参画しています。また、事業場の特性に応じて、会社見学や職業体験学習の受け入れ、学校への講師派遣、地域行事への参加や協力なども実施しています。

行政・自治体

行政や自治体と連携をしたさまざまな社会貢献活動を活発に行っています。2019年3月期は、独立行政法人国際協力機構(JICA)タイ事務所およびバンコク日本人学校と連携した「ODA学習」の一環として、子どもたちに内視鏡の役割などについて学ぶ機会を提供しています。

内視鏡キッズ教室 <https://www.olympus.co.jp/csr/education-creates-the-future/asia/190124>